

福島第一原子力発電所における緊急作業に従事した作業者の  
線量評価状況について  
20mSv 超過者の精密測定

福島第一原子力発電所の緊急作業に従事した作業者の被ばく線量については、測定・評価を継続して実施中です。

20mSv を超える作業者については JAEA において精密測定を実施しています。

7月20日に内部被ばく線量の評価値が50mSvを超える作業者の評価状況について報告致しましたが、今回は評価値が20mSvを超え50mSv以下の作業者の線量評価状況について報告するものです。

**表1** 20mSv を超え 50mSv 以下の作業者の評価状況(7/29 厚生労働省報告)

緊急作業に従事実績のある作業者のうち、7/25 までにWBC測定を実施した作業者の内部被ばく線量の分布。  
(抜粋)

区分(mSv)	3月			4月			備 考
	社員	協力企業	計	社員	協力企業	計	
20 超え ~ 50 以下	180	99	279	0	8	8	今回の評価範囲

**報告事項**

上記について、JAEA における精密測定等の再評価を行った結果、前回報告(7月29日)の287名(社員180名、協力企業107名)から、251名(社員176名、協力企業75名)となりました。(表2)

**表2** 20mSv を超え 50mSv 以下の作業者に対する当社の評価結果

区分 (mSv)	3月			4月		
	社員	協力企業	計	社員	協力企業	計
20 超え ~ 50 以下	176	73	249	0	2	2
10 超え ~ 20 以下	4	3	7	0	0	0
10 以下	0	23	23	0	5	5
計	180	99	279	0	7(*1)	7

\*1 名簿の重複登録が判明したため、7/29 報告値から1名減。

(参 考)

7/29 報告の287名(表1)の内訳は251名(表2)に減少していますが、新たに評価を行った者や行動調査を反映して再評価した者がいたため、20 超え ~ 50 以下は以下の数値となっています。(表3)

**表3**

区分(mSv)	3月			4月		
	社員	協力企業	計	社員	協力企業	計
20 超え ~ 50 以下	180	76	256	0	2	2

以 上